

災害からまちを守る消防団

地域のために頑張っています



火災の発生、川の氾濫、崖崩れ…そのようなとき、わたしたちの先頭に立ち、災害からまちを守ってくれる頼もしい存在、それが「成田市消防団」です。

市消防操法大会での気合のこもった演技

消防団員とは

火災が起きたとき、消防車で駆けつけてくれる消防職員と消防団員。

その違いは何でしょうか。

消防職員は、市の職員で消防の専門職です。

消防団員は、日ごろはそれぞれの仕事に就く社会人などがほとんどです。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感のもと、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。

災害に強い安全なまちづくりを進める上で、地域に密着した消防団員の活動は、重要な役割を担っています。

消防団の構成は

成田市消防団の体制は12分団・97力部で、構成員は1、491人です。

水槽付き消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車19台、小型動力ポンプ付き積載車77台の消防車両を配備し活動しています(平成25年4月1日現在)。

日ごろの活動は

消防団員の仕事は、災害活動と

災害以外の活動に分けられます。その主なものは次の通りです。

災害活動

○火災の消火作業などの支援

○火災鎮火後の警戒

○風水害(台風・集中豪雨・洪水などの警戒

○震災時の消火活動、人命救助、避難誘導

○崖崩れ・地滑りなどの警戒、人命救助

○命救助

○災害以外の活動

○火災予防の啓発を通して、地域の防火に対する意識を高める

○火災が多発する時期を重点的に、一年を通して定期的に夜警などの警戒活動を実施する

○災害の発生に備え、消火作業や人命救助の訓練を実施する

○いざというときの出動に備え、機械・器具を常に万全な状態に保つよう点検・整備する

消防団員が不足しています

地元の情報や地理にくわしく、迅速に対応できる消防団は、地域の安心・安全を保つために無くてはならない存在です。

例えば、火災が発生した場合、現場にいち早く到着し、延焼などを防ぐ役割を果たしています。

しかし、昭和20年代には全国に200万人いた団員が、毎年減り続け、現在は90万人を下回っています。

本市でも、1、535人の定員(条例上)に対して44人不足しています。

あなたの方が必要です

消防団員を募集

成田市消防団では、団員を随時募集しています。

災害から地域を守るためには、多くの人の力が必要です。

市内在住の18歳以上で、熱意のある健康な人なら誰でも入団できます。

※くわしくは消防総務課(☎20・1590)へ。



大規模災害を想定して訓練